



「ジャマイカにおける養護教育支援」

1 ジャマイカの国について

独立年	1962年 英国から独立(カリブ海英領植民地で最初) 現在も英連邦加盟	主要産業	鉱業(ボーキサイト)、農業(コーヒー、砂糖、バナナ)、観光業、工業(アパレル、食品加工)
面積	11,424 平方キロ	GNI	7,738 百万米ドル(2004)(世銀)
人口	262 万人	一人当たり GNI	2,900 米ドル(2004)(世銀)
人種	アフリカ系 91%、黒人系混血 7%(91 年国勢調査)	経済成長率	2.3%(2003)
言語	英語、パトウア	物価上昇率	14.1%(2003)
政体	立憲君主制	失業率	13.1%(2003)
元首	英国女王エリザベス 2 世(総督はジャマイカ人)	主要貿易品目	
議会	二院制(上院 21 名、下院 60 名)	輸出	アルミナ、ボーキサイト、砂糖、衣類
政府	議員内閣制、行政の長は首相 閣僚のうち 2 乃至 4 名は上院議員、その他は下院議員 現首相: パーシヴァル・J・パターソン 現外相: キース・ナイト	輸入	原材料、消費財、資本財
<対日関係近況>		主要貿易相手	米国、カナダ、オランダ、英国、ノルウェー
		通貨	ジャマイカ・ドル 1 米ドル = 63.875 ジャマイカ・ドル(2005 年 11 月現在)

- (1) ジャマイカは英語圏カリブ地域の中心国であり、92 年に在京大が設置され、95 年に我が国が実館化、96 年に駐神戸名誉領事館が開設されたことにより関係が益々緊密化、97 年、秋篠宮同妃両殿下が皇族として初めてカリブを御訪問された。98 年 10 月にはパターソン首相が公式実務訪問賓客として訪日する等要人往来も活発。2000 年 11 月、東京で初めての日・カリブ閣僚レベル会議が開催され、ロバートソン外相が出席した。2001 年 1 月には平沼経済産業大臣がジャマイカを訪問した。
- (2) ハネムーンを中心に日本人観光客が急増(89 年の約 3 千人、96 年の 2 万人強)したが、現在は減少傾向。
- (3) ジャマイカ音楽のレゲエも日本で根強い人気。
- (4) ジャマイカでしか産出しない世界最高級のブルー・マウンテン・コーヒーを我が国が約 8 割輸入。
- (5) 経済協力については、有償資金協力及び無償資金協力を主とした援助を実施している他、文化無償協力及び草の根無償協力も実施。技術協力については保健・医療、行政等の分野で研修員を受入れており、89 年より青年海外協力隊の派遣も行っている。

2 ジャマイカにおける養護教育

養護隊員が配属された「ジャマイカ知的障害児協会(JAMR = Jamaica Association for Persons with Mental Retardation)」は「スクール・オブ・ホープ(School of Hope)」という特殊教育機関を運営している。これはジャマイカで最も古い特殊教育機関(1956 年設立)であり、規模も最大である。知的障害児の養護学校を設置、基礎学習や職業訓練を行っている。養護隊員の活動先はすべて「スクール・オブ・ホープ」が運営する養護学校である。また、ろう学校(JAD = Jamaica Association for the Deaf)が各地方に設置されており、ジャマイカ最東端のポートアントニオでは、知的障害の養護学校と聾学校が併設されている。

3 ジャマイカ任地での活動 スクールオブホープポートアントニオ校 (P.2~4)

4 現地教員向けの「ワークショップ」(P.4~7) 添付資料(PDM P.8)

5 まとめ

* 子どもの作品集やその他、詳しいジャマイカでの活動内容を HP に掲載してあります。時間があればぜひ立ち寄ってみてください。また、何か質問などありましたら、HP の掲示板やメールを通してご連絡ください。お待ちしております。 http://www.geocities.jp/hi_rok0320/index.html